

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-13	小学校	算数	算数	1年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号			
4大日本	算数103	たのしいさんすう1ねん		

I 編修の基本方針

「たのしい算数」が大幅リニューアルしました

2020年度版「たのしい算数」は、新しい時代を生き抜くために必要な資質・能力を育成するため、内容を**大幅に刷新**しました。ていねいな紙面構成・展開で、全ての児童、先生にとってわかりやすい教科書を目指し、周辺教材とも連携しながら、豊かな学力が身につく教科書を目指しました。



ウェブコンテンツ、指導者用・学習者用デジタル教科書、準拠問題集などと一体で学力をのばします。

1. 考えるってたのしい！を育てる

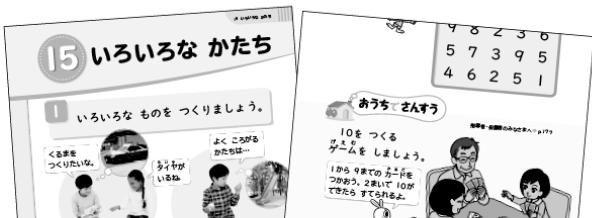
→本紙 p.2



主体的・対話的で深い学びを実現するため、具体的でていねいな紙面構成とし、見方・考え方を働きながら、**思考力・判断力・表現力をのばす**ことができるよう様々な工夫をしました。

2. 算数大好き！を育てる

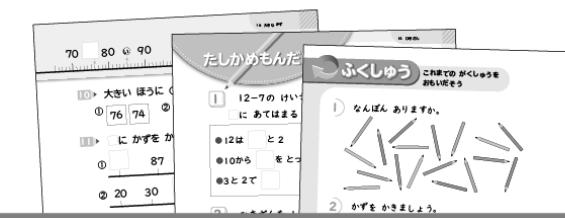
→本紙 p.3



導入や展開を工夫し、**児童が主体的に学習を進めることができる**ようにしました。さらに、「おうちでさんすう」を新設するなどし、家庭での生活を通して、学習を活用することができるようになりました。

3. わかった！できた！を育てる

→本紙 p.4



練習問題を従来よりも大幅に増やすとともに、単元末問題や復習のページを用意することで、**基礎・基本が確実に定着**するようにしました。



さらに！

→別紙「学習指導要領との対照表」参照

- 学習の進め方がわかる巻頭「さんすうのまなびかた」
- 統計的問題解決を重視した統計単元
- スタートカリキュラムに対応した単元展開
- 小中の接続に対応した特設ページ(5、6年)

- 全学年でプログラミング教育に対応
- 領域カラーやインデックスなど、機能的な紙面構成
- 特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮
- 外国語、道徳、防災、情報、オリンピック・パラリンピックなど、現代的な諸課題に対応

1 考えるってたのしい！を育てる ~思考力・判断力・表現力の育成~

①主体的・対話的で深い学びを実現するよう、重点となる時間を「じっくり ふかく まなびあおう」と設定し、授業の流れ・数学的活動の流れをていねいに示しました。

問題把握→自力解決

12 たしざん

発表

板書の様子も掲載し、指導のヒントになるようにしました。

p.107~112

比較検討→まとめ・適用

発表の仕方、聞き方のポイントを示しました。

解説文: 特に単元12の「じっくり ふかく まなびあおう」では、写真を使いながら、5ページにわたって詳細に展開を示しているよ。

解説文: 解決方法の共通点を見いだす話し合いの場面も詳細に提示。

②考え方方に焦点をあてたまとめ「はっけん！かんがえかた」や「ひらめきアイテム」を新設。見方・考え方を働きかせながら学習が進められます。

p.122

13-9 = □ こたえ にん

13-9のようなひきざんは、10からひくとけいさんできます。

p.100

いくつぶんのながさかしらべましょう。

つくえのたてとよこのながさをしらべましょう。

どのようにしらべたかはっこうしましょう。

なにかのいくつぶんでしらべるといいですね。

ひらめきアイテム
いくつぶんかんがえる

本時のまとめは、知識・技能だけでなく、考え方方に焦点をあてたものも掲載。

様々なところで使える見方・考え方「ひらめきアイテム」として提示。

③各種の学力調査で課題とされている読解力・表現力・活用力などが身につきます。

p.117

1から9までのカードがうらむきてまいづつあります。このなかから、2まいづつとって、たしたこたえがちいさいほうがかちというゲームをします。

けんさんとさきさんはつぎのように

p.116

まなみさんはかきを7こ、しんやさんは9ことりました。ふたりでなんことりましたか。

こたえが13になるたしざんを3つつくりましょう。

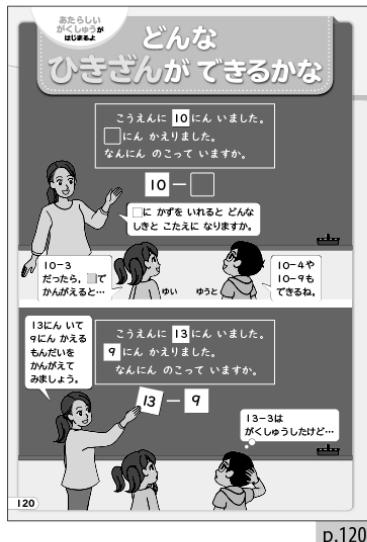
4+7のけいさんのしかたをずにかきましょう。

情報を読み取る力や、学習を活用する力を育成する「よみとるちからをのばそう」を新設しました。

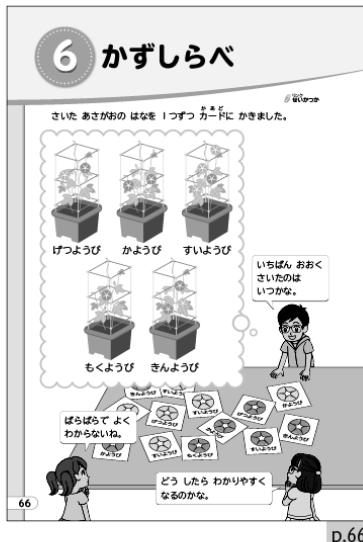
単元末の問題に、思考力・判断力・表現力を問う問題も適宜設定しました。

2 算数大好き！を育てる ~学びに向かう力・人間性等の涵養~

①導入や展開を工夫し、児童が主体的に学習に取り組めるようにしました。



p.120



p.66

単元導入や毎時の導入では、児童自身が問題や疑問を見いだし、主体的に学習に取り組めるような題材を工夫しました。



3年以降では発展的に学習をひろげる様子も適宜掲載しました。

②算数の学習を日常生活や他教科の学習に生かす態度を養います。



p.145

学習したこと家庭や地域での生活にも生かすよう促す「おうちでさんすう」を新設。保護者向けのサポートページも用意しました。



p.22

他教科の学習と関連した題材にはリンクマークをつけ、学習を他教科へ生かす態度を養うようにしました。



p.148

「さんすうたてばこ」では、身の回りから数を探す活動など、学習したことと生活を結びつける活動を例示しました。



3年 p.204

3年以降では、「ふくろう先生のなるほど算数教室」を新設し、算数への興味・関心を一層高められるようにしました。

3 わかった！できた！を育てる ~知識・技能の確実な習得~

①充実した適用問題で、知識・技能を確実に身につけ、定着させます。

1 ながいはりをかきましょう。

① 4じ ② 11じはん ③ 9じはん

2 よみかたのまちがいをいいましょう。

① 5じはん ② 12じはん

p.87

10 大きいほうに○をつけましょう。

① 76 74 ② 81 91 ③ 99 100

11 □にかずをかきましょう。

① 87 88 ② 20 30 50 ③ 40 45 55

p.145

毎時の適用問題は、従来より増やし、全単元にわたって十分な量を設けました。

2年生以降では、巻末補充問題も全単元にわたり豊富に掲載しました。

②単元末問題や「ふくしゅう」を充実させ、1年を通じて十分な練習ができるようにしました。

たしかめもんたい

1 けいさんをしましょう。

① $6+2+1$ ② $5+5+6$ ③ $9+1+3$
 ④ $6-2-2$ ⑤ $10-7-2$ ⑥ $12-2-1$
 ⑦ $10-6+2$ ⑧ $10-9+4$ ⑨ $6+4-8$

2 おりがみが13まいありました。3まいつかいました。また8まいつかいました。このりはなんまいですか。

3 6-4+4のしきになるようにえをならびかえましょう。

4 8この□をおなじかずつわけました。□のずっとしきをせんでむすびましょう。

□□□□	· · · ·	$2+2+2+2$
□□□□	· · · ·	$4+4$

p.95

単元末の「たしかめもんたい」は、単元内の学習を網羅した問題で構成し、それらがしっかりと身についているかどうか確認できるようにしました。

ふくしゅう これまでのがくしゅうをおもいだそう

1 なんばんありますか。

2 かずをかきましょう。

① 10と4で□ ② 19は□と9

3 どちらがおおきいでしょうか。

① 12 9 ② 15 17 ③ 20 19

4 とけいをよみましょう。

① 10時半 ② 11時半 ③ 12時半

5 じゆんび

① 2+6 ② 4+3 ③ 10+5 ④ 16+3
 ⑤ 7-2 ⑥ 10-4 ⑦ 12-2 ⑧ 19-6

p.88

数単元おきに「ふくしゅう」を設け、既習事項をふりかえることができるようになりました。

次単元以降のレディネスになる問題には、「じゅんび」のマークをつけました。

③協働的な活動を豊富に設け、たのしながら知識・技能を確実に定着できるようにしました。

ひきざんカード

1 カードをつけて、おもて5-3 うち2

こたえがおなじカードをあつめよう

1	2	3	4	5	6	7	8	9
5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	7-1	8-1	8-2	8-3

カードとりをしよう

p.61

さんうきつからてあそぼう

ふたりでおいかけっこ

ゲームのしかた

●④か⑤のところにじゅんのおはじきをおく。
 ●ひきざんカードをじゅんばんに1まいとて、こたえのかずだけすすむ。
 ●あいてをおいぬいたらかち。

p.65

習熟を要する学習では、練習問題を設定するだけではなく、ゲームなどの活動を豊富に設け、たのしく習熟できるように配慮しました。

協働的な活動も多く設け、入学初期の人間関係づくりにもなるように配慮しました。

II 対照表

教育基本法の理念にそって、真理を追求し、豊かな人間性と創造性を身につけることができるよう、次のような点に配慮して教科書を編修しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	たのしいさんすう はじまるよ	・スタートカリキュラムの考え方をふまえ、巻頭では、幼稚園や保育園を含むこれまでの日常生活と、これから学習がつながっていることを示し、入学初期の児童に安心感と期待感をもたらすようにしました。(第一号)	表紙裏～p.1
	さんすうの まなびかた	・「さんすうの まなびかた」では、学習の進め方を示すとともに、 生活に学習を生かす ことも掲載しました。(第一、二号) ・児童の発達段階に配慮し、 発表のしかたや、友達の考えをしっかり聞くことなどを 掲載しました。(第一、三号)	p.3
本編	各单元の構成	・主体的・対話的で深い学びが実現するよう、 数学的活動を豊富に取り入れ 、知識・技能、思考力・判断力・表現力が育成できるようにしました。(第一、三号) ・単元3までをスタートカリキュラムに対応したページと位置づけ、生活科などと合科的に扱える活動や友達との協働的な活動を多く取り入れました。(第一、三号)	全体 表紙裏～p.39
	ノート例	・児童の表現力を育成するため、発達段階に合わせてノートの例を系統的に掲載しました。特に、 図による表現 を多く取り入れ、演算の意味をより深く理解し、演算決定に図を活用できるように配慮しました。(第一、二号)	p.43, 53, 90, 112, 155など
	じっくり ふかく まなびあおう	・重点となる時間を「じっくり ふかく まなびあおう」と位置づけ、 主体的・対話的で深い学び が実現するよう工夫しました。(第一、三号) ・自分の 考えを表現する活動 や、問題に対する 多様な解決方法 を掲載しました。(第二、三号) ・p.108では、発表のしかたを再度掲載し、話形の例なども示しました。(第一、二号)	p.107～112, p.121～122, p.155～156
	まとめ ひらめきアイテム	・まとめは、知識・技能面だけでなく、 考え方 に焦点をあてた「はっけん！ かんがえかた」を取り入れました。(第二号) ・様々な場面で使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」として掲載しました。また、学習で発見したアイテムは以降の学習で活用する場面を掲載しました。(第二号)	p.110, 122, 156など, p.100, 146など
	適用問題	・毎時の適用問題は、 従来よりも豊富に 掲載し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させることができるようにしました。(第二号)	p.44, 87, 113, 144～145など
	たしかめもんだい	・単元末の「たしかめもんだい」は、単元内の学習を網羅した問題で構成し、それらがしっかりと身についているかどうか確認できるようにしました。また、どの問題までできたかを見ることで自己評価ができるようにしました。(第一、二号) ・ 思考力・判断力・表現力を問う問題 も適宜取り入れ、評価にも活用できるようにしました。(第一、二号)	p.95, 116, 161など
	よみとるちからを のばそう	・各種の学力調査で課題とされている、読解力・活用力・表現力を育成するため、「よみとるちからを のばそう」を新設しました。(第一、二号)	p.117, 128, 169
	おうちでさんすう	・学習したことを家庭や地域での生活にも生かすよう促す「おうちでさんすう」を新設しました。(第二号)	p.39, 145, 154
	プログラミングに ちょうせん！	・ プログラミング に触れる特設ページを全学年に設け、プログラミング的思考をのばすことができるようになりました。(第一、二号)	p.168
その他	イラストや写真	・キャラクターの1人を外国にルーツをもつ児童に設定。また、挿絵イラストや活動写真にも適宜、外国にルーツをもつ人や外国人を掲載し、異文化理解を促すようにしました。(第三、五号) ・イラストの中などに、車椅子を使っている人や盲導犬を入れ、障害者に対する理解を促すようにしました。(第三、五号)	p.155, 131, 157など p.87, 153など
	環境などに 配慮した問題	・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うため、問題場面などに適宜、リサイクルなどに関連したものを掲載しました。(第四号) ・日本の伝統を尊重する態度を養うため、問題の題材として日本の伝統のおもちゃを採用するなどしました。(第五号)	p.171, 139など
	特別支援教育・ユニバーサルデザインに 配慮した紙面構成	・専門家の監修のもと、 全面的にユニバーサルデザインフォント を使用したり、 カラーユニバーサルデザイン をふまえた配色を工夫したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。(第一号)	全体
	デジタルコンテンツ	・知識・技能を定着させたり、学習をよりひろげたりすることができるよう、 デジタルコンテンツ を用意し、対応するページにマークを付しました。(第一、二号)	p.114, 125, 152

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

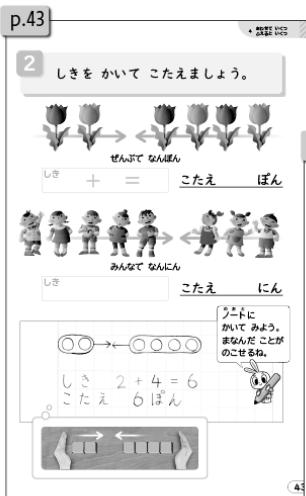
受理番号	学校	教科	種目	学年
30-13	小学校	算数	算数	1年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号			
4大日本	算数103	たのしいさんすう1ねん		

I 編修上特に意を用いた点や特色

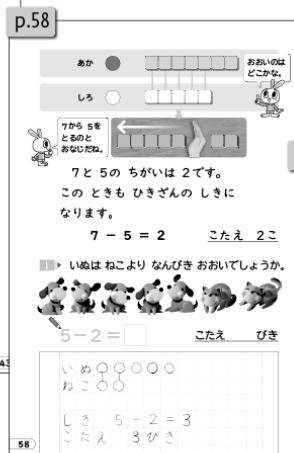
|1 学習の進め方がわかる様々な工夫



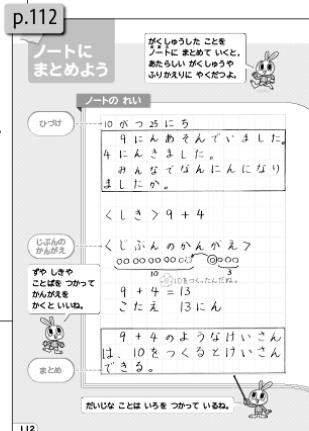
巻頭に「さんすうの まなびかた」を設け、基本的な学習の進め方を示しました。学習を生活に生かすことや片づけなどの生活習慣についても触れました。



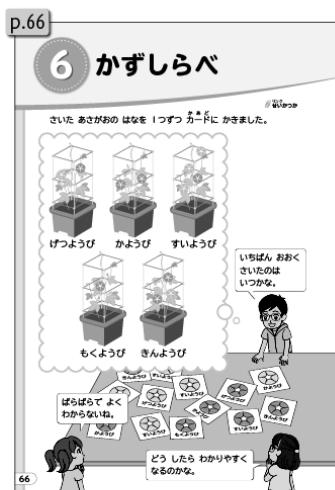
ノートのかき方の例を発達段階に合わせて系統的に掲載しました。



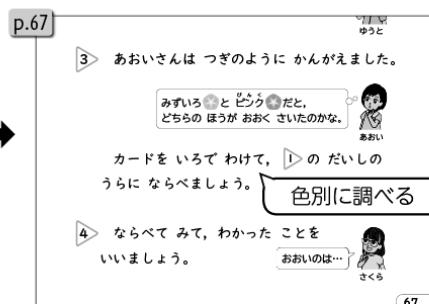
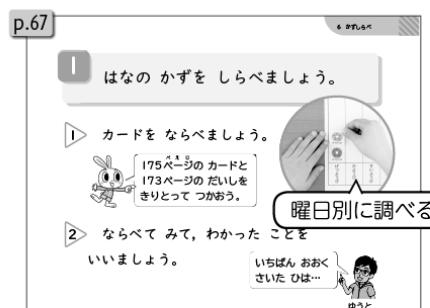
特に、図による表現を多く取り入れ、演算の意味をより深く理解し、演算決定に図を活用できるように配慮しました。



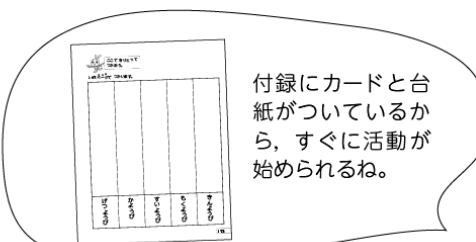
|2 統計的な問題解決を重視した統計単元



導入では、他教科との関連をはかりながら、問題を見いだす場面を提示しました。



観点を変えて、グラフをつくりかえる活動を取り入れ、統計を活用して問題解決する力をのばすことができるようになりました。



付録にカードと台紙がついているから、すぐに活動が始まられるね。



3 ICT 教育の充実、プログラミングページの新設

4 7+6のけいさんのしかたをかんがえましょう。

どちらを10にしようかな。

0000000 000000

6 ➤ ①6+5 ②5+8 ③6+6

p.114

たしざんのれんしゅう

とけいのはりをあわせましょう。

①7じ20ぶん ②12じ40ぶん ③5じ52ぶん

p.152

とけいのれんしゅう

□のマークがあるところには、たし算、ひき算や時計の読み方の反復練習問題のデジタルコンテンツを用意。インターネットにつながなくても使用できるよう教師用指導書にも収録予定です。

プログラミングにちようせん!

ゴールをめざそう

1 | 175ページのカードをつかってラビちゃんをうごかすめいいろをつくり、めいいろのゴールまですすめましょう。

2 | つぎのめいいろにもちようせんしましょう。

p.168

「プログラミングにちようせん！」のページを新設。1学年ではコンピュータを使わない数学的活動を通して、プログラミング的思考に触れる構成とし、活動のための付録も用意しました。



「プログラミングにちようせん！」は全学年に設定してあるよ。

4 使いやすく機能的な紙面構成

ふりかえりをするときに探しやすいインデックス

学習のつながりがわかりやすい、領域別単元カラー

緑 : 数と計算
ピンク : 図形
水色 : 測定
オレンジ : データの活用

2年以降では、毎時間めあてを設定

めあて 時間のもとめ方を考えよう。

14 ひきざん

1 | こうえんに13にんいました。
9にんかえりました。
なんにんのこっていますか。

2 | けいさんのしかたをかんがえましょう。

3 | じぶんのかんがえをはっぽうしましょう。

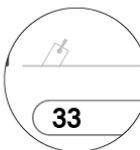
p.121

解決方法を見せない
右ページ始まり

p.122

経験の浅い先生や算数専門でない先生も授業の流れがイメージしやすい、授業場面イラストや書き出し

2年以降では、1時間の区切りの目安を示すしおりマークも掲載



5 専門家監修のもと特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮

全面的にUDフォントを使用

本文や吹き出し、ページ番号など、全面的に、見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。特に教科書体は、デジタル教科書でも読みやすい書体を採用しました。



カラーユニバーサルデザイン

色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、配色に配慮しました。インデックスでは、■のような模様の処理を施し、より判別しやすきました。

10 ながさくらべとひろさくらべ

読みやすい位置での改行

単語の途中で改行せず、読みやすい位置で改行をしています。

いくつ
たたいたかな。

ページ番号

ページ番号は枠で囲むとともに太い書体を採用し、判別しやすきました。

132

もんだいをつかもう

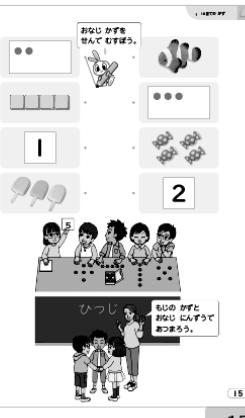
問題解決の段階を示すタグ

問題解決の段階を示したタグは、特別な配慮を必要とする児童を含め、全ての児童にとつて今何をしているかが把握しやすく、安心して学習に取り組めるようになります。

6 幼児教育・中学校との接続に配慮



巻頭では、幼稚園・保育園とのつながりを示唆するオープニングページを設定。入学初期の児童に、安心感と期待感をもたらせるようにしました。



単元3までをスタートカリキュラムに対応したページと位置づけ、生活科などと合併的に扱える活動や友達との協働的な活動を多く取り入れました。

1 トランプゲームをしよう

みかさん達は、次のようなルールのゲームをしました。

- 右のページの下にある数直線の0点のところにおはじきを置く。
- 右の6枚のカードを並べて1枚ひき、数直線のおはじきを次のように動かす。
ひいたカードは元にもどす。

6年 p.222

中学校の数学ではこんなことを学ぶよ

負の数 (中学1年)

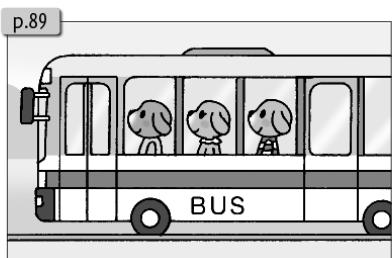
算数では、より大きい数の表し方を学習しましたが、数学では、より小さい数「負の数」の表し方や、計算について学習します。
例えば、222ページのゲームで、「右に2進み、左に3進む」とを、数学では $2-3$ や $(+2)+(-3)$ と表します。算数では $2-3$ のうな書き方はできませんでしたが、数世界を負の数まで広げることで、計算できるようになります。

文字を使った式 (小学6年)
文字式と式 (中学1年)

6年 p.232

5、6年では、中学校の学習との接続を意図した特設ページを設置しました。

7 様々な現代的な課題に対応



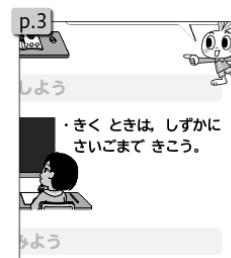
〈外国語活動〉

イラスト内に英語表記を入れ込むなどし、英語に慣れ親しみ、3年以降の外国語活動につながるように配慮しました。



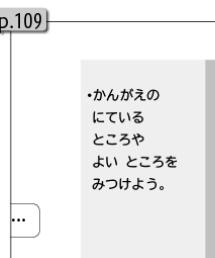
〈異文化理解〉

キャラクターの1人を外国にルーツを持つ児童に設定。挿絵や写真でも適宜外国にルーツをもつ人々を掲載しました。



〈道徳教育〉

友達の話をよく聞くことや、考え方の良いところを見つけることを促す記述を取り入れるなど、道徳教育との関連をわかりました。



2+3 さんすう みのまわりの さんすう もあてばかずを見つけよう

148

〈防災教育〉

こども110番の写真を掲載し、防犯・防災意識を高められるようにしました。

かずを見つけよう

33

〈オリンピック・パラリンピック〉競技でのゼッケン番号を取り上げ、オリンピック・パラリンピックを教育に生かすことができるようになりました。

たちましょう。

まえから4にんめ。

〈他教科との連携〉他教科との関連をマークで示しました。

教科書の特色

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第1条の「教育の目標」を実現するために、同2条の「教育の目標」の達成を目指して編修しました。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科の学習指導要領に記載された項目を全て取り上げました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「さんすうのまなびかた」では、話し合い活動における話し方・聞き方について例示しました。(p.3) ・「じっくりふかくまなびあおう」の時間では、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動などを通じて、深い学びが実現するように配慮しました。(p.107~112, p.121~122, p.155~156)
基礎的・基本的な知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時の適用問題を従来よりも豊富に掲載するとともに、単元末の「たしかめもんだい」、数単元ごとにおいて「ふくしゅう」を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるようにしました。(p.100~101, 95, 40など) ・学年1冊本とすることで、既習事項のふりかえりがしやすくなるようにしました。 ・習熟を要する学習では、ゲームなどの活動や合科的な活動を豊富に設け、たのしく習熟できるように配慮しました。(p.15, 30, 65など)
思考力・判断力・表現力等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめでは、考え方方に焦点をあてたまとめを適宜取り入れました。(p.110, 146など) ・様々な場面で使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」として設定し、学習を進める中で獲得したり、獲得した見方・考え方を活用したりする展開を工夫しました。(p.100, 119など) ・文章題では、発達段階を考慮して、3つの文章に区切った形式(例「こどもがフにんいます。3にんきました。みんなでなんにんになりましたか。」)を多く採用し、演算決定に徐々に慣れていくように配慮しました。(p.47, 82など)
学びに向かう力、人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入などは、児童自身が問題や疑問を見いだし、主体的に学習に取り組めるような題材を工夫しました。(p.66, 106など) ・「算数たまてばこ」では、学んだことを活用したり、日常生活から算数を探す活動を行ったりすることができるようになりました。(p.96, 148など)
個に応じた指導	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算、ひき算や時計の読み方について、練習問題のデジタルコンテンツを設け、個に応じた指導の際に、柔軟に活用できるようにしました。(p.114, 125, 152など)
幼保小の連携、小中の接続	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭では、幼稚園・保育園とのつながりを示唆するオープニングページを設定し、入学初期の児童に、安心感と期待感をもたせるようにしました。(表紙裏~p.1) ・単元3までをスタートカリキュラムに対応したページと位置づけ、生活科などと合科的に扱える活動や友達との協働的な活動を多く取り入れました。(p.22, 15など) ・5、6年では、中学校の学習との接続を意図した特設を設置しました。
ICT教育への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・無料のデジタルコンテンツを豊富に用意し、対応するページにマークを付しました。(p.114, 125, 152) ・プログラミングに触れる特設ページを全学年に設け、プログラミング的思考をのばすことができるようになりました。(p.168)
道徳教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・相手にきちんと聞こえる声で話すことや、相手の話を最後まで静かに聞くことを掲載し、相手を思いやる態度を育成することができるよう配慮しました。(p.3, 108)
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科に関連した題材を適宜扱うとともに、関連していることをマークで示しました。(p.30など) ・グラフの学習を学年の早い段階に位置づけることにより、他教科や生活で活用できるようにしました。(p.66~69)
現代的な諸課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化理解を促すため、キャラクターの1人を外国にルーツをもつ子供としたり、イラストや写真の中でも、適宜外国にルーツをもつ人々を掲載しました。(表紙裏, p.119, 157など)
伝統文化を尊重する態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の題材として、日本の伝統的なおもちゃを採用するなど、日本の伝統文化を尊重する態度を育成することができるようになりました。(p.139)
評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・適用問題を豊富に設け、単元末には「たしかめもんだい」を設定することで、評価としても活用ができるようになりました。(p.64, 161など)
家庭・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域においても算数を活用する態度を育成できるよう、「おうちでさんすう」を新設しました。(p.39, 145, 154)
安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・作業的活動の例示においてケース付きのはさみを示すなど、安全に配慮した紙面構成としました。(p.132など)
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列を組みました。 ・単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、年間の予備時数も十分に確保しました。 ・単元内の問題は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるために豊富に用意しました。
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の監修のもと、文節単位での改行、全面的なユニバーサルデザインフォントの使用、カラーユニバーサルデザインをふんだんに配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は丈夫で汚れにくくなるように加工しました。 ・製本は児童にとって安全で、奥までよく開くアジロ綴じを採用しています。

II 対照表

第1学年

二重線は3学期制の区切り、太破線は2期制の区切り

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当 時数	用語・記号
0 なかよし	A (1) ア (ア)	4~9	3	
1 10までのかず	A (1) ア (イ) (ウ), イ (ア)	10~27	10	
2 なんばんめ	A (1) ア (イ), B (1) ア (ウ)	28~30	2	
3 いくつといくつ	A (1) ア (エ)	31~39	7	
ふくしゅう		40	-	
4 あわせていくつふえるといくつ	A (2) ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア)	41~50	8	+ = 42
5 のこりはいくつちがいはいくつ	A (2) ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア)	51~64	11	- 52
ふたりでおいかげっこ		65	1	
6 かずしらべ	D (1) ア (ア), イ (ア)	66~69	2	
ふくしゅう		70	-	
7 10よりおおきいかず	A (1) ア (イ) (ウ) (オ) (ク), イ (ア), A (2) ア (エ)	71~84	9	
8 なんじ なんじはん	C (2) ア (ア), イ (ア)	85~87	1	
ふくしゅう		88	-	
9 3つのかずのけいさん	A (2) ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア), A (1) ア (ク)	89~95	6	
どんなけいさんするのかな		96	1	
10 ながさくらべとひろさくらべ	C (1) ア (ア) (イ), イ (ア)	97~103	6	
11 たしざんカード ひきざんカード	A (2) ア (ウ)	104~105	2	
12 たしざん	A (2) ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア)	106~116	6	
たしざんゲーム		117	1	
13 かさくらべ	C (1) ア (ア) (イ), イ (ア)	118~119	2	
14 ひきざん	A (2) ア (ア) (イ) (ウ), イ (ア)	120~127	6	
だがしやさん		128	1	
15 いろいろなかたち	B (1) ア (ア) (イ), イ (ア)	129~133	5	
ふくしゅう		134	-	
16 大きなかず	A (1) ア (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ) (キ) (ク), イ (ア), (2) ア (ア) (イ) (エ), イ (ア)	135~149	11	一の位, 十の位 136
17 なんじなんぶん	C (2) ア (ア), イ (ア)	150~154	3	
18 ずをつかってかんがえよう	A (2) ア (ア) (イ), イ (ア)	155~161	6	
19 かたちづくり	B (1) ア (ア) (イ), イ (ア)	162~166	4	
どこにあるかな		167	1	
ゴールをめざそう		168	-	
タマをさがせ		169	1	
1年のふくしゅう		170~172	2	

合計 118

(数学的活動)

学習指導要領の内容	該当箇所ページ
(1) ア	8~9, 10~11, 16~17, 22~23, 86~87, 129~130, 131, 132~133, 152~153, 162~163, 164, 165, 166など
(1) イ	41~42, 45~46, 48, 51~52, 55, 57~58, 60, 66~67, 68~69, 93, 97~98, 99, 102, 103, 118, 119など
(1) ウ	62, 71~72, 82~83, 89~90, 94, 106~112, 113, 114, 120~122, 123, 124, 125, 135~136, 146~147, 155~156, 160など
(1) エ	41~42, 43, 45~46, 51~52, 53, 55, 57~58, 66~67, 68~69, 71~72, 82~83, 89~90, 94, 106~112, 113, 114, 120~122, 123, 124, 125, 146~147, 155~156, 157, 158, 159, 160